

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 静岡県浜松市
本事業の担当部局名 こども家庭部こども若者政策課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		1_1_3 出会いの機会・場の提供に関する取組					
個別事業名		浜松市結婚支援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度 令和6年度
総事業費(A)(円)		9,200,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 9,200,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		9,200,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	9,200,000	0	0	0	0	9,200,000
	対象経費支出予定額	9,200,000	0	0	0	0	9,200,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当市の出生数、婚姻数は減少し続けており少子化が進行している。全庁で連携する「浜松市少子化対策連絡会」で少子化対策事業について企画提案と意見交換を実施し、結婚・出産・子育ての希望を叶えられる社会の実現を目指す。「令和5年度少子化に関するアンケート調査」の結果分析を踏まえ、令和7年度は既存事業を継続しつつ結婚やこどもを産み育てるイメージが不足している若い世代に対してライフデザインセミナーやプレコンセプションケア啓発事業を実施する。 <本個別事業の位置付け> 「令和5年度少子化に関するアンケート調査」では、婚姻状況にない人の約8割が婚姻願望を持っている。また、結婚しない理由は、適当な相手にめぐり合わない(52.8%)が最も多い。そのため、若者の出会いの機会の創出や、結婚への後押しをするサポーターの育成等を実施し、市の若い世代が結婚や出産の希望を実現できる環境を整備する。また、結婚を希望する若者の親を対象とした婚活セミナー・交流会を開催する。また、イベント参加をあまり好まない若者に対して、メタバース空間での出会いの場を創出する。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	婚活イベントの開催及び婚活セミナーの実施	若者の興味を引く体験型イベントやマッチングイベントを開催し、出会いの場を提供する。プロポーズ方式により特色のあるイベントの提案を求める。 ○内 容 ①メタバース婚活 (60人程度) メタバース空間での交流、マッチング後に対面デートを行うイベントを実施 ②スポーツ観戦等を通じた交流イベント(72人程度) ③ホテルでの会食交流イベント等(3回以上、延べ150人程度) ④親の婚活セミナー・交流会(60人程度) 結婚を希望する若者の親を対象とした婚活セミナー・交流会の開催 上記①～④を計6回以上開催し、342人程度の参加を想定。 ○周知・広報について ・自治体広報誌、市ホームページ、専用特設サイト、市公式SNS(LINE、X、Facebook、ライン)、ラジオ、SNS広告等				
	2	マリッジサポーターによるアフターフォロー	・出会いの機会から結婚に至るまでの過程において、マリッジサポーターを配備し、イベント参加者のフォロー及びイベント終了後の相談に応じる。 ・婚活イベントの実施後、イベント参加者に向けた婚活スキルアップセミナーを行う。 ・マリッジサポーターのスキル向上のための研修を行う。				
	3 10	ふじのくに出会いサポートセンターとの連携	・イベント参加者へ県と市町が運営している「ふじのくに出会いサポートセンター」を周知してサポートセンターへの登録を促進させ、事業の他に継続的な婚活への取り組みや出会いの機会の提供を目指す。				

○課題
令和6年度に実施した婚活イベントは男性参加者に対して、女性参加者の募集に苦慮をした。
そのため、令和7年度は業務委託の仕様を工夫し、プロポーザルで女性の参加につながる魅力的な事業提案をしてもらう。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率			1.51 (2034年)	1.27 (2023年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.45 (H30～R4厚生労働省：R6公表値)	
	婚姻件数		件	3,178 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)	
	婚姻率			4.1 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	婚活イベント及びセミナーの参加者数	人	342 (R7年度)	286 (R6年度)
	②	マリッジサポーターによる相談支援の活用者数	人	239 (R7年度)	24 (R6年度)
	③	婚活スキルアップセミナーの参加者数	人	239 (R7年度)	37 (R6年度)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7年度)	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	70 (R7年度)	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	70 (R7年度)	---
	④	スキルアップセミナー受講後、婚活に対し自信が付いた参加者の割合	%	70 (R7年度)	---
	⑤	浜松市結婚支援事業を通してマッチングさせる組数	組	40 (R7年度)	44 (R6年度)
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 静岡県浜松市
本事業の担当部局名 健康福祉部健康増進課

事業メニュー		結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
個別事業名		はじめてのパパママレッスン				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度 平成8年度
総事業費(A)(円)		3,840,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 3,840,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		3,840,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	448,000	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	448,000	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	3,085,000	307,000	0	0	0	3,840,000
	対象経費支出予定額	3,085,000	307,000	0	0	0	3,840,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当市の出生数、婚姻数は減少し続けており少子化が進行している。全庁で連携する「浜松市少子化対策連絡会」で少子化対策事業について企画提案と意見交換を実施し、結婚・出産・子育ての希望を叶えられる社会の実現を目指す。「令和5年度少子化に関するアンケート調査」の結果分析を踏まえ、令和7年度は既存事業を継続しつつ結婚やこどもを産み育てるイメージが不足している若い世代に対してライフデザインセミナーやプレコンセプションケア啓発事業を実施する。 <本個別事業の位置付け> 結婚して始めて出産を迎える妊婦やその夫(パートナー)に対して、妊娠中の身体管理及び親となる心構えと育児の実際を伝えることにより、夫婦で協力して安全な分娩、妊娠中の不安解消や産後の円滑な育児開始を図ることができるよう講座を行うもの。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	はじめてのパパママレッスンの実施	「妊娠中・産後の心身の変化と夫婦の関係の変化(ふたりの生活と子どもがいる生活の違い、ママ・パパの気持ち、親になるスピード、赤ちゃんが生まれることによる夫婦関係の変化等)」や「赤ちゃんのいる生活をイメージ、お互いの役割(赤ちゃんの泣きピーク、一週間の授乳回数、頼み上手になろう等)」の講話および赤ちゃんのお世話、抱っこのかた等の実技演習。 講義での単なる知識や提供に留まらず、主体的に自身のこれからの生活をイメージできるよう、参加型の講義形式とし、また、赤ちゃん人形を使っのグループワーク演習とする。 *対象: 初めての出産を迎える妊娠20週から35週までの妊婦と夫(パートナー)1536組を予定				
	2						
	3						
		<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・市内の産科医療機関での講座開催が少なく、対面講座の他にオンライン講座も開始し定員数の増加を図る等、対策を講じているが、対面講座において参加希望者が受講できない状況が継続しており、参加希望者が受講できる環境を整える必要がある。左記のことから、教室規模の拡大や開催場所の変更、内容検討を行い、対面講座の年間定員数を6%拡充し、妊婦とその夫やパートナーが妊娠・出産への理解を深め、子育てに関する意識の変化を促すことで、共に育児することを促進する。					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率			1.51 (2034年)	1.27 (2023年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.45 (H30～R4厚生労働省：R6公表値)	
	婚姻件数		件	3,178 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)	
	婚姻率			4.1 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	講座の参加者数	人	3072 (R7年度)	1689 (R5年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	98 (R7年度)	95 (R5年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	90 (R7年度)	85 (R5年度)
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 静岡県浜松市
本事業の担当部局名 こども家庭部子育て支援課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		重点メニュー					
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援					
個別事業名		赤ちゃんとのふれあい体験事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度 平成17年度
総事業費(A)(円)		2,013,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 2,013,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		2,013,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	2,013,000	0	0	0	0	2,013,000
	対象経費支出予定額	2,013,000	0	0	0	0	2,013,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当市の出生数、婚姻数は減少し続けており少子化が進行している。全庁で連携する「浜松市少子化対策連絡会」で少子化対策事業について企画提案と意見交換を実施し、結婚・出産・子育ての希望を叶えられる社会の実現を目指す。「令和5年度少子化に関するアンケート調査」の結果分析を踏まえ、令和7年度は既存事業を継続しつつ結婚やこどもを産み育てるイメージが不足している若い世代に対してライフデザインセミナーやプレコンセプションケア啓発事業を実施する。 <本個別事業の位置付け> 中学生を対象に、出産や育児に関する講話や乳幼児との触れ合い体験を通じて、結婚、妊娠、子育て等のライフデザインを自分事として描ききっかけ作りを行うもの。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	赤ちゃんとのふれあい体験事業	市内の中学生を対象とし、赤ちゃんとのふれあい事業を行う。今年度は、学校との協議の上、乳幼児とのふれあい体験を再開し、参加した中学生が、「命の尊さ」や「愛しさ」、「親の子どもに対する愛情」をより深く感じられるように実施していく。実施内容について浜松市公式SNSでの発信を行う。 ※対象:市内中学校12校程度(計900人程度)にて実施予定				
	2						
	3						

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 令和6年度までは、これまでに事業を実施したことのない学校を対象に10校(1校につき2回まで)を上限に実施してきたが、多くの学校で実施できるよう、実施にあたっての制限を撤廃し12校程度の開催を見込んでいる。				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)
	合計特殊出生率			1.51 (2034年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)
	合計特殊出生率			1.45 (H30～R4厚生労働省：R6公表値)
	婚姻件数		件	3,178 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)
	婚姻率			4.1 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)
	番号	項目		現状値(時点)
		(アウトプット)		
	①	赤ちゃんとのふれあい事業の参加者数	人	900 (R7年度)
	②			
	③			
	④			
	⑤			
		(アウトカム)		
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---
	④	事業実施後に、大人になったら子育てをしてみたいと考えた参加者の割合	%	90 (R7年度)
	⑤	事業実施後に、自分や周りの人を大切にしたいと考えた参加者の割合	%	90 (R7年度)
	⑥			
	⑦			
	⑧			

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 静岡県浜松市
本事業の担当部局名 こども家庭部こども若者政策課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		1_1_3 出合いの機会・場の提供に関する取組					
個別事業名		ふじのくに出会いサポートセンター登録料優待事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度 令和6年度
総事業費(A)(円)		1,600,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 1,600,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		1,600,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	1,600,000	0	1,600,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	1,600,000	0	1,600,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当市の出生数、婚姻数は減少し続けており少子化が進行している。全庁で連携する「浜松市少子化対策連絡会」で少子化対策事業について企画提案と意見交換を実施し、結婚・出産・子育ての希望を叶えられる社会の実現を目指す。「令和5年度少子化に関するアンケート調査」の結果分析を踏まえ、令和7年度は既存事業を継続しつつ結婚やこどもを産み育てるイメージが不足している若い世代に対してライフデザインセミナーやプレコンセプションケア啓発事業を実施する。 <本個別事業の位置付け> 「令和5年度少子化に関するアンケート調査」では、婚姻状況にない人の約8割が婚姻願望を持っている。また、結婚しない理由は、適当な相手にめぐり合わない(52.8%)が最も多い。そのため、市の若い世代が結婚や出産の希望を実現できる環境整備を目的に、県と県内自治体が協働で運営する「ふじのくに出会いサポートセンター(しずおかマリッジ)」の利用登録料の補助を実施する。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	ふじのくに出会いサポートセンター登録料補助金	<対象者> 下記条件を満たす者 ① 浜松市に住所を有する方(※登録時点) ② 令和7年4月1日以後に、ふじのくに出会いサポートセンターに会員登録した方 ③ ふじのくに出会いサポートセンター登録時点の年齢が39歳以下 <会費優待について> ①1年登録会費 1人あたり優待額:5,000円 登録優待予定人数:80人 ②2年登録会費 1人あたり優待額:8,000円 登録優待予定人数:150人				
	2						
	3						

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>
会員数の伸び悩みがある。そのため、WEB広告、公式SNSでの発信、企業訪問、ポスター配布等を通じてふじのくに出会いサポートセンター及び本補助金制度の周知を図っていく。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率			1.51 (2034年)	1.27 (2023年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.45 (H30～R4厚生労働省：R6公表値)	
	婚姻件数		件	3,178 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)	
	婚姻率			4.1 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	補助金申請者数	人	230 (R7年度)	100 (R6年度見込)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	年度末におけるふじのくに出会いサポートセンター登録者数	人	381 (R7年度)	200 (R6年度見込)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 静岡県浜松市
本事業の担当部局名 こども家庭部こども若者政策課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名		浜松市ライフデザインセミナー				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		990,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0	差引額(A-B)(円)	990,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		990,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	990,000	0	0	0	0	990,000	
	対象経費支出予定額	990,000	0	0	0	0	990,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当市の出生数、婚姻数は減少し続けており少子化が進行している。全庁で連携する「浜松市少子化対策連絡会」で少子化対策事業について企画提案と意見交換を実施し、結婚・出産・子育ての希望を叶えられる社会の実現を目指す。「令和5年度少子化に関するアンケート調査」の結果分析を踏まえ、令和7年度は既存事業を継続しつつ結婚やこどもを産み育てるイメージが不足している若い世代に対してライフデザインセミナーやプレコンセプションケア啓発事業を実施する。 <本個別事業の位置付け> 「令和5年度少子化に関するアンケート調査」では、「結婚するにあたって、不安な理由」として、「経済的な不安(64.4%)」、「子育てに対する負担感(46.3%)」との回答結果が出ている。 そのため、若い世代に対して、自身のライフプランニングやキャリア形成を考える機会や公的な子育て支援等に関する知識を提供し、結婚に関する不安感の解消に努める。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	ライフデザインセミナーの開催	オンラインにて100名程度を対象としたライフデザイン(将来設計)に関するセミナーを開催。セミナーでは、家計管理や生活設計、子育て支援制度やサービスに関する知識を提供し、参加者の状況に合わせたアドバイスを行う。 当日のセミナーの様子を浜松市HP等に掲載をし、視聴可能とする。					
	2							
	3							

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)
	合計特殊出生率			1.51 (2034年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)
	合計特殊出生率			1.45 (H30～R4厚生労働省：R6公表値)
	婚姻件数		件	3,178 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)
	婚姻率			4.1 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)
	番号	項目		現状値(時点)
		(アウトプット)		
	①	講座の参加者数	人	100 (R7年度)
	②			
	③			
	④			
	⑤			
		(アウトカム)		
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	75 (R7年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	75 (R7年度)
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	75 (R7年度)
	④			
	⑤			
	⑥			
	⑦			
	⑧			

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 静岡県浜松市
本事業の担当部局名 健康福祉部健康増進課

事業メニュー		結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名		プレコンセプション普及啓発事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		5,232,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	5,232,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		5,232,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	58,000	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	58,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	5,174,000	0	0	0	0	5,232,000	
	対象経費支出予定額	5,174,000	0	0	0	0	5,232,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当市の出生数、婚姻数は減少し続けており少子化が進行している。全庁で連携する「浜松市少子化対策連絡会」で少子化対策事業について企画提案と意見交換を実施し、結婚・出産・子育ての希望を叶えられる社会の実現を目指す。「令和5年度少子化に関するアンケート調査」の結果分析を踏まえ、令和7年度は既存事業を継続しつつ結婚やこどもを産み育てるイメージが不足している若い世代に対してライフデザインセミナーやプレコンセプションケア啓発事業を実施する。 <本個別事業の位置付け> 市民が性や将来の健康づくりに関する正しい知識を習得し、年代に合わせた健康管理を行うことの大切さや Well-beingの実現につながることに学ぶ機会を提供することで、特に、高校生や大学生、20代の若い男女に対して「プレコンセプションケア」を推進し、将来の健やかな妊娠・出産につなげ、将来的な出生数の増加を図る。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	プレコンセプションケア普及推進イベントの開催	市民が、リスクのある妊娠や不妊が増加している現状を把握し、将来のライフプランを考えて日々の生活や健康と向き合うことの必要性を学ぶ機会を「プレコンセプションケア」の概念を通じて提供する。 また、特に高校生や大学生、20代の若い男女に対しては、将来の健やかな妊娠・出産につなげ、将来的な出生数の増加を図る。 ○イベント概要 ・参加者数(定員):600人(講演会・座談会) ・内容:講演会(プレコンセプションケアに関する専門的知識を有する医師等により、「プレコンセプションケア」の基本的な考え方や必要性等について、参加者が学べる機会を提供する) 座談会(登壇者が自らのライフプランやプレコンセプションケアとの関わり、健康づくりについて意見交換する) 関連企業による啓発・展示ブース(若者向けのプレコンセプションケアに関する企業等の取り組みや情報を発信する機会を設ける) ・対象:市内在住のもしくは市内通学・通勤の小・中・高・大学・専門学校等に通う学生とその保護者、社会人、子育て世代等 ・参加費:無料					
	2							
	3							

＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組（ステップアップ）＞				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)
	合計特殊出生率			1.51 (2034年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)
	合計特殊出生率			1.45 (H30～R4厚生労働省：R6公表値)
	婚姻件数		件	3,178 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)
	婚姻率			4.1 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)
	番号	項目		現状値(時点)
	(アウトプット)			
	①	イベントの参加者数	人	500 (R7年度)
	②			---
	③			
	④			
	⑤			
	(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	70 (R7年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	70 (R7年度)
	④			
	⑤			
	⑥			
	⑦			
	⑧			

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	静岡県浜松市
本事業の担当部局名	こども家庭部こども若者政策課

事業メニュー	結婚新生活支援事業				
区分	都道府県主導型市町村連携コース				
関連事業メニュー	4.2 結婚新生活支援事業(都道府県主導型市町村連携コース)				
個別事業名	浜松市結婚新生活支援事業補助金			新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和4年度
総事業費(A)(円)	67,200,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	67,200,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	67,200,000				
費用内訳 (円)	個別事業の内容のとおり				
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け	<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当市の出生数、婚姻数は減少し続けており少子化が進行している。全庁で連携する「浜松市少子化対策連絡会」で少子化対策事業について企画提案と意見交換を実施し、結婚・出産・子育ての希望を叶えられる社会の実現を目指す。「令和5年度少子化に関するアンケート調査」の結果分析を踏まえ、令和7年度は既存事業を継続しつつ結婚やこどもを産み育てるイメージが不足している若い世代に対してライフデザインセミナーやプレコンセプションケア啓発事業を実施する。 <本個別事業の位置付け> 「令和5年度少子化に関するアンケート調査」では、結婚にあたって最も不安な事柄は、「経済的な不安」であるとの結果が出ている。本事業を実施することで、結婚を希望する若い世代の経済的負担を軽減し、未婚化及び晩婚化の抑制を図りたい。				
個別事業の内容	1. 概要				
	【対象費用】				
	☐ 住宅取得費用	☐ 住宅リフォーム費用	☐ 住宅賃借費用	☐ 引越費用	
	【補助対象要件】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載				
	所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満		
		自治体独自基準			
	年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯		
		自治体独自基準			
	【補助上限額】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載				
	29歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円		
自治体独自基準					
39歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円			
	自治体独自基準				
【その他独自要件】					
対象婚姻期間要件: 令和7年1月1日から令和7年12月31日まで (令和6年度補助金交付決定者は対象外とし、継続補助は実施しない) 対象支払期間要件: 令和7年4月1日から令和8年1月31日まで 補助金の交付を受ける日から1年以上、申請に係る住宅に定住する意思があること 夫婦共に市税を完納していること					

2. 申請見込

①新規世帯見込	132	世帯	②継続補助世帯見込	0	世帯
上記のうち	ともに29歳以下	92	(継続補助規定の有無)	無	
	その他	40			

【世帯数積算根拠】

【新規申請世帯見込数】

・令和7年度新規申請世帯見込数: 令和6年度同様の申請数推移を見込み、132世帯(当市の令和6年度交付申請における新規申請世帯見込数と同一)としている。

【補助上限額別の世帯数】

・令和7年度補助上限額別の新規世帯見込数: 当初、下記のとおり、「夫婦共に29歳世帯: 96世帯」「その他の世帯: 36世帯」として算出した。ただし、当市予算の制約により、「夫婦共に29歳以下の世帯: 92世帯」「その他の世帯: 40世帯」として申請を行う。

【参考: 算出方法】

令和5年の「人口動態統計」及び「国民生活基礎調査」の数値を用いて算出した補助上限額別の比率(見込)で、令和7年度新規申請世帯見込数を按分し算出。

＜補助上限額別の比率(見込)＞

「夫婦共に29歳以下の世帯の比率: その他の世帯の比率」≒「①: ②」

≒「72.5% : 27.5%」と見込算出。

＜補助上限額別の世帯数(見込)＞

・夫婦共に29歳以下の世帯: R7新規申請世帯見込数132世帯×72.5% ≒96世帯

・その他の世帯: R7新規申請世帯見込数132世帯×27.5% ≒36世帯

(参考)

【令和6年度申請状況】		実施中
申請世帯数見込	139	世帯
～12月(実績)	127	世帯
1月～3月(見込)	12	世帯

【金額積算根拠】

＜上限額＞

(29歳以下)	92	世帯	×	600,000	円	=	55,200,000	円
(その他)	40	世帯	×	300,000	円	=	12,000,000	円
				(継続補助)			0	円
				合計			67,200,000	円

＜左記の上限額の合計を使用しない場合の積算＞

3. 広報の実施予定

浜松市広報誌への掲載、浜松市公式HP・SNS等での情報提供、浜松市内公共施設へのチラシ配架、浜松市内金融機関及び不動産事業者等へのチラシ配布・配架

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率			1.51 (2034年)	1.27 (2023年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.45 (H30～R4厚生労働省: R6公表値)	
	婚姻件数		件	3,178 (R4静岡県人口動態統計: R6公表値)	
	婚姻率			4.1 (R4静岡県人口動態統計: R6公表値)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	支給世帯実績／支給見込世帯数の割合	%	100 (R7年度)	100 (R5年度)
	(アウトカム)				
	①	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	61 (R7年度)	60 (R5年度)
	②	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「地域に支援されていると感じた世帯の割合」	%	76 (R7年度)	65 (R5年度)